

## <目標分野> ※該当するものに全て印

## <目標内容>

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病气予防
- ③ 自然と体を動かしてしまふ「楽しいまち」への転換

**1** ホッケー競技を核に、「ひと」と「ひと」、「まち」と「ひと」をつなぎ、地域交流の促進や地域住民の心と体の健康増進とコミュニティ強化につなげる。

**2** 大崎自然公園交流広場を拠点としたホッケーイベントを実施し地域活性化を促進する。

### 具体目標

- 1** ホッケーイベントの開催件数 ▶ R5…10件、R6…12件、R7…14件
- 2** スポーツ大会、合宿等の誘致件数 ▶ R5…10件、R6…12件、R7…14件

## <PRポイント>

- 県内で唯一の公認ホッケー場を整備
- 公認ホッケー場周辺には、海水浴場やオートキャンプ場があり合宿地として好立地！
- 新しい形のホッケーを開発…いつでも、どこでも、だれにでもホッケー競技を体験できる機会の創出



## <概要> 計画期間：～令和8年3月31日

### 現状課題

高齢化が進み、医療費も高い水準で推移しており、いつまでも健康で生活できる健康寿命に関する施策が課題である。

ホッケー競技（合宿、大会）の誘致については、関係団体との連携不足により、積極的な展開ができていないため、観光消費を取り込めていない。

“ホッケーのまち川棚町”を掲げているが、広く地域住民に浸透していない。

## 課題解決の「カギ」The key

### R6インターハイの成功

令和6年度全国高等学校総合体育大会ホッケー競技会を町全体で盛り上げ、大会の成功と大会後のレガシーを見据えた取組を実施



大会を機に「ホッケーのまち川棚」を定着

### 地域資源を活用したスポーツ合宿の推進

施設のリニューアルを契機に、スポーツ合宿等の誘致を推進



【リニューアル予定グラウンド】



豊富な地域資源

ホッケー+αで合宿地として選ばれる場所へ

### 新しい形のホッケーを開発

「いつでも、どこでも、だれにでも」をコンセプトにした新たなホッケープログラムを開発



【ウォーキングホッケー】「歩く」を基本に子どもから大人まで一緒になって楽しむルールでプレー

【グラウンドゴルフ×ホッケー】ホッケースティックとボールを使ってグラウンドゴルフをプレー

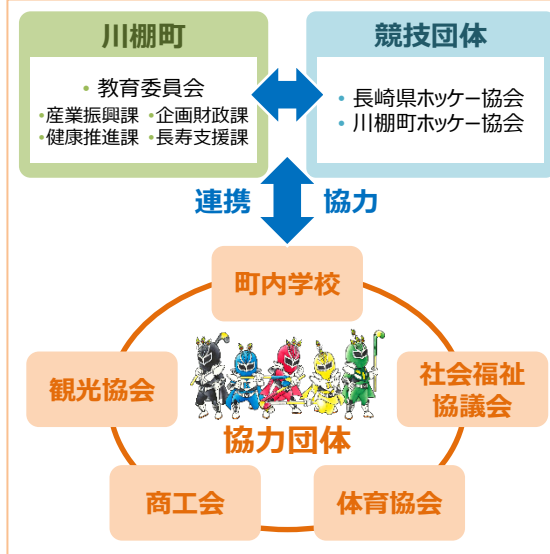
地域住民の健康増進とコミュニティ強化につなげる



交流人口の拡大や賑わいを創出し、地域が「かわつたな」を実感できる町へ

【フォローアップ欄】令和6年度以降における計画の進捗状況

## <継続的な取組を確保できる体制（図）>



## 各種基礎データ

スポーツ部局の所属先	川棚町教育委員会
地方スポーツ推進計画	なし
地方版総合戦略	第2期川棚町まち・ひと・しごと創生総合戦略
地域スポーツコミッション	なし

## 【問合せ先・電話番号】

川棚町教育委員会 社会教育係  
0956-82-2064